

2026-27年度 国際ロータリー第2690地区
ロータリー財団地区補助金奨学金申請書

本申請書を提出する前に推薦を依頼するクラブに連絡してください。

※記入欄が不足する場合は、欄を追加し記入してください。

氏名(ふりがな)				性 別	男 ・ 女
住 所	〒				
生年月日	年 月 日				
TEL(携帯)			E-mail		
学 歴	高等学校	立 高等学校卒業			
	大学	大学	学部	学科 卒業 ・ 年在学中	
	大学院	大学	卒業 ・ 年在学中		
職 歴	会社名	①	在職期間		
	会社名	②	在職期間		
地区内に 現住所・本籍・通勤先・通学先・住所登録・帰省先 がある (該当するものを○で囲む)					
本籍地:					
留学予定期間	年 月 ~ 年 月 (約 年間)				
専攻					
留学を志望 する 教育機関	国名	都市名	使用言語	教育機関名および専攻コース	
	①		語		
	②		語		
	③		語		
	④		語		
以前留学した 教育機関	①		語		年 ヶ月
	②		語		年 ヶ月

緊急連絡先

氏名(ふりがな)			続柄	
住 所	〒			
TEL(携帯)			E-mail	

■資金計画

・資金計画を教えてください。

第1希望

授業料と生活費の概算

奨学金を含む資金計画:

第2希望

授業料と生活費の概算

奨学金を含む資金計画:

第3希望

授業料と生活費の概算

奨学金を含む資金計画:

第4希望

授業料と生活費の概算

奨学金を含む資金計画:

必要な提出書類

申請するクラブに事前に連絡し、記入済の申請書と全ての必要書類を提出してください。
不備や記入漏れのある申請は、審査の対象となりません。

1. 小論文

下記の小論文(日本語でタイプしたもの)を留学国の使用言語に翻訳し、申請書と共に提出してください。

- 次の各点を説明した、2ページ以内(翻訳を除く)の簡単な略歴
 - 得意な科目と今後の課題
 - 職歴
 - ボランティア活動
- 次の各点を説明した、3ページ以内(翻訳を除く)の詳細な趣旨説明
 - 奨学金を申請する理由
 - 希望する専攻分野、および将来のキャリア計画
(その計画が、世界の理解と平和を推進するというロータリー財団の使命をどのように支え、本プログラムの目的の推進にどのように役立つかを説明すること)
 - 希望留学国および希望留学機関を選択した理由と、これらの留学機関が親善使節としてのあなたの目的をどのように支えるのかに関する明確な説明
 - 海外留学中に参加したいと考えている社会奉仕プロジェクトまたは活動(できればロータリークラブと協力して行われるもの)
- あなたの主な関心事や活動を要約したリスト(翻訳を除き、1ページに収めること)。それらにおいてあなたがリーダー的役割を果たしたことのあったものを記載すること。公共でのスピーチの訓練や経験、ならびに社会奉仕活動への関与があればそれも明記のこと

2. 語学力証明書

- 留学先の言語について、語学教師が記入した語学力証明書を提出しなければなりません。

※留学先での授業があなたの母国語で教授されている場合であっても、親善使節としての任務を果たすことを含め、留学国で一般に使用されている言語または「公式」言語の能力は奨学金受領の条件であるため、この書式を記入しなければなりません。

※大学レベルあるいはそれに相当するレベルにおいて少なくとも2年間、希望する言語を学習したことを証明する書類を提出しなければなりません(申請書4ページ)。

※語学力証明書のセクションIを自分で記入し、セクションIIは語学の教師に記入してもらってください。

- 前述の語学条件に照らし、語学力テストの結果(例:TOEFLのスコア)を添付してください。

3. 推薦書

- 推薦書式(6ページ)について、ロータリー財団の奨学金の趣旨を説明し、教師または適切な雇用主／上司にセクションIIIを記入してもらってください。

4. 成績証明書

高校卒業後に就学したすべての教育機関(大学、短期大学、専門学校など)の成績証明の原本(複写不可)を提出してください。

5. 入学許可書または在学証明書

- 申請書提出時に入学許可を得ていない場合は、以下に記入の上、2026年4月末までに提出してください。

第1希望 申請時期		結果判明時期	
第2希望 申請時期		結果判明時期	
第3希望 申請時期		結果判明時期	
第4希望 申請時期		結果判明時期	

■ 語学力証明書

セクション Iー申請者が記入すること

申請者の氏名

1. 本書式は何語に関して記入されていますか。 ☐ 英語
☐ フランス語 ☐ ドイツ語 ☐ 日本語 ☐ スペイン語 ☐ その他(具体的に) _____

2. 高校卒業後に正規に受けた当該言語の研修を要約してください。一番最近のものから順に挙げてください。

在学期間(月／年)	平均時間数	成績	
から	まで	(1週につき)	(該当する場合) 教育機関名

3. 当該言語を正規の研修によらないで学んだか、この言語を使用した経験があればそれを要約してください。

4. この言語が使用されている国に留学するための奨学金を受領した場合、出発前にどのような言語研修を受けるつもりですか。

■ 語学力証明書

セクションⅡ—語学教師が記入すること

申請者の氏名

1. どのような立場で、いつから申請者をご存知ですか。

2. この評価は何が基になっていますか。以前の授業や個人授業の際の所見をお書きください。その他(具体的にご記入ください)

3. 申請者の現在の語学力を次のように評価してください。

	非常に優秀	優秀	普通	初歩的
読む能力	☐	☐	☐	☐
書く能力	☐	☐	☐	☐
聴く能力(理解力)	☐	☐	☐	☐
話す能力	☐	☐	☐	☐

4. 申請者の現在の語学レベルで研究プログラムを遂行することができるかどうか、ご意見を記入してください。申請者の語学力が適当でない場合、どのような語学研修をお勧めになりますか。

氏名

役職または肩書き

教育機関名

電話番号

ファックス

Eメール

署名

日付

■ 推薦書式

セクションⅢ－教育者あるいは雇用主／上司が記入すること

申請者の氏名

1. どのような立場で、いつから申請者をご存知ですか。
2. 希望する研究分野に対する申請者の熱意はどの程度のものですか。
3. 海外への留学が、申請者の学問あるいは職業的発展にどのように寄与すると思われますか。
4. 次の各項目において、申請者を評価してください。評価不可能と思われる項目に関しては、空白のままにしてください。

	非常に優秀	優秀	平均的	平均以下
リーダーシップ	☐	☐	☐	☐
率先力	☐	☐	☐	☐
目的に対する真剣さ	☐	☐	☐	☐
熱意	☐	☐	☐	☐
適応能力	☐	☐	☐	☐
成熟度	☐	☐	☐	☐
情緒安定性	☐	☐	☐	☐
人前で話す能力	☐	☐	☐	☐
地域社会奉仕	☐	☐	☐	☐

5. 質問4に挙げられた各資質を申請者が示した具体例を、いくつか挙げてください。

6. その他のコメント:

氏名 組織・期間名 役職または肩書き

電話番号 ファックス Eメール

署名 日付

■ 申請者署名

私は、国際ロータリー第2690地区の奨学金を、ここに申請します。私は、以下の範疇に含まれる人には申請資格がないことを理解しており、私が申請資格を有していることを証明します。

- (a) ロータリアンおよび名誉ロータリアン、
- (b) ロータリークラブや地区、国際ロータリー、その他のロータリー関連団体の雇用者、
- (c) 範疇(a)および(b)に該当する人の配偶者、直系卑属(血縁、養子縁組、再婚による子または孫)、直系卑属の配偶者・直系尊属(血縁による親または祖父母)および以上の記述に当てはまるロータリアンやその親族は、退会から36カ月が経過するまでは無資格者とされます。

奨学金を受領する場合、私は次の各項目に同意します。

1. 国際ロータリーについて学び、ロータリーの親善使節としての使命の一環として、国際親善の責務を果たします
2. 国際ロータリーの広報活動のために、名前や写真、奨学金関連の活動中に作成した報告書を用いることを許可します
3. 留学機関の入学許可、ビザの取得、旅行券の手配等、出発前の全ての義務事項を完了することに責任を持ちます
4. 出発前の義務事項(ビザ取得、保険料等)を完了する際の一切の費用(補助金承認前)は私が責任を持ちます
5. 奨学金に関して国際ロータリー第2690地区が下した決定に従います
6. 奨学金は、下記理由によって取り消され、支給された金額を返済しなければならないことを承諾します:
 - 留学機関への入学許可を取得出来ない場合、地区の同意なしに研究プログラムを変更した場合
 - 学業成績のレベルが低い場合、奨学金支給期間の終了前に当該教育機関を退学した場合
 - 親善使節としての任務を適切に遂行しなかった場合、違法行為が明らかになった場合
 - 奨学金に関して義務づけられた事柄が遂行できなくなるような不慮の事態が起こった場合
7. 地区によって定められた期日に報告書を提出します
8. 国際ロータリー、ロータリー財団、研究機関、および各ロータリークラブとロータリアンは、奨学生が奨学金支給期間を超えて研究や勉学にあたるための個人的な福利厚生や責務に対し、一切責任を負いません

申請者氏名

申請者署名

日付

■ ロータリークラブによる推薦

は 〃 を奨学生として推薦します。

ロータリークラブ名

申請者氏名

ロータリークラブ選考委員会は、本候補者の面接を ☐ 行いました ☐ 行いませんでした。

申請者が奨学金を受領した場合、クラブ会長は次のロータリアンを派遣側カウンセラーとして推薦します。

派遣側カウンセラーは知識豊富なロータリアンで、留学前、留学中、帰国後を通じて、情報源かつ指導者としての役割を果たします。

派遣側カウンセラーの氏名

郵便番号

住所

自宅電話:

勤務先電話

ファックス

Eメール

クラブ会長の氏名(直接ご入力ください)

クラブ会長署名

日付

※派遣クラブの会長は、本申請書を提出する前に、クラブ用の控えとして本申請書のすべてのコピーを取ってください。